

やんちゃっこ

あまえっこ



かえで 金子 楓 ちゃん

令和7年2月26日生まれ (相差町)

お兄ちゃん大好きな
楓くん。すくすく大きく
なってね!



うか 濱口 羽叶 ちゃん

令和7年4月3日生まれ (答志町)

いっぱい食べていっぱい
遊んで大きくなってーね♡♡
れーな大好きっ子♡♡

満1歳になる元気なお子さんの写真(デジカメ画像可)に25文字以内のコメントを添えて、広報情報係へお送りください。

メールでも受け付けています。✉ koho@city.toba.lg.jp

すこやかに とばっこげんきっこ

おみらい絵

vol.232



まだ寒さが残る三月ですが、季節の変化が感じられます。こたつで過ごす時間も、あと少しかもしれません。学年が変わるこの時期に、家族で新年度への準備を始めてみてはいかがでしょうか。

ちゃんと飾るの
には意味が
あるんやで

意味?

健やかに大きく
なりますように、って
願いがこぼれてる

全国の離島医療に関わる方が集まる、「離島医療会議」が開催されました。島根県隠岐諸島の海士町で創設されたこの会議は、地域医療の極地である「離島医療」の可能性を話し合うもので、第4回を初めて隠岐以外で開催するにあたり、本市が会場に選ばれました。

先生の言葉です」と教えていただき驚きました。実は奥野先生のお父様は、私の生まれ故郷である桃取町の診療所にお勤めの先生で、幼い頃からよく知っていたかたでした。

自治医大の一期生であった奥野先生は、その後長く神島診療所に勤められ、自身の結婚式を神島で挙げられるほど、離島やへき地の医療に情熱を注いでこられました。

今、全国の離島やへき地の医療は、人口減少や医師不足のため、今まで通りの医療体制の維持が困難になってきています。それでも住民の命は守らなくてはいけません。それが医療チームや行政の使命です。

今日の医療技術の進歩は目覚ましいものがあり、一筋の光を見出しますが、それらも使いこなしながら離島やへき地の医療を何とか維持していこうとする医療従事者・関係者の覚悟や熱意を強く感じた今回の会議でした。

離島医療会議 in 鳥羽

変革のスイッチ

vol.09

